



2022 年 12 月 19 日

報道関係者各位

Amazon、新しい配送プログラム

「Amazon Hub デリバリーパートナープログラム」を発表

空き時間に Amazon の商品を配達することで、中小企業が副収入を得ることが可能に

東京・千葉・埼玉・神奈川・大阪・京都・兵庫・愛知・福岡エリアの地域に根差す中小企業が、
半径約 2km 圏内に Amazon の商品を配達



左から Amazon Hub デリバリーパートナー鈴木 吉昭様、濱田 良太様、
アマゾンロジスティクス ディレクター アヴァニシュ ナライン シング、
Amazon Hub デリバリーパートナー大野 裕子様

Amazon(所在地:東京都目黒区)は、12月19日(月)、新しい独自の配送プログラム「Amazon Hub デリバリーパートナープログラム」を発表しました。これは Amazon のお客さまのお手元に商品をお届けするラストマイルの新しい配送モデルで、地域の中小企業に Amazon の商品の配達を委託し、報酬をお支払いする仕組みです。現在、雑貨店、写真館、レストラン、新聞配達店、居酒屋、美容室、花屋、アパレルショップ、コーヒーショップ、犬のブリーダーなど、数百の中小企業がパートナーとして、空き時間を利用して Amazon の商品を近隣に配達しています。

Amazon Hub デリバリーパートナーは、その日の営業スケジュールに合わせて、空き時間などに配送を行うことができます。Amazon は決められた日にパートナーの事業所や営業所、店舗などにまとめて商品をお届けし、その商品をパートナー企業のオーナーやスタッフが空き時間を利用し、お客様のご指定の配送先にお

届けします。これにより、パートナー企業は本業に従事しながら、隙間時間を利用し、副収入を得ることができます。

本プログラムでは、全てのパートナーが、店舗や事業所から最長約2Km圏内で配達を行います。配達方法は自由に選択できますが、多くのパートナーが自転車や徒歩で配達をしています。配達する商品の個数はさまざまですが、現在のところ、通常1日に約30~50個で、数時間程度で全ての配達を完了させることができます。

このプログラムについて、アマゾンジャパン アマゾンロジスティクス ディレクターのアヴァニシュ ナライン シングは、次のように述べています。

「Amazon は、これまでもさまざまな取り組みを通して中小企業支援に注力してまいりました。Amazon Hub デリバリーパートナープログラムにより、地元企業が Amazon のテクノロジーを活用し、活躍の場を広げ、日本のラストマイル配送の新時代をともに切り拓くことができると考えています。パートナー企業の皆さまは、空き時間を利用して柔軟に受託業務を行い、副収入を得ることができます。Amazon は、皆さまの成長を加速させ、日本の経済発展を支えるパートナーとして、引き続き尽力してまいります。」

また、Amazon Hub デリバリープログラムで活躍するパートナーの皆さまは以下のようにコメントしています。

●東京で「フォトショップダイヤ」を経営する鈴木 吉昭様

「私は40年以上、写真館を経営しています。Amazon Hub デリバリーパートナープログラムに参加し、慣れ親しんだ地域での土地勘を活かし、日中の空き時間を有効活用できるようになりました。副収入を得られるだけでなく、健康維持や地域の方々との交流にも役立っています。配達は簡単で、Amazon のサポートも受けられます。親しみのある地域なので、宛先に書かれている名前を見るだけで、どの家に配達すべきか分かることがほとんどです。この年齢でも新たな収入源を得られることに感謝しています。」

●大阪で居酒屋と卸売業を営む「浜田商店」の濱田 良太様

「Amazon Hub デリバリーパートナーを始めてから、月の売り上げが2倍近くになっただけでなく、配達先でお会いしたお客様から多くの注文をいただけるようになりました。町内会の会長として、毎日数時間、近所を移動しながら地域のニーズを把握し、サポートを続けることができ、これ以上の喜びはありません。」

●千葉で柴犬専門店を経営する「オオノ」の大野 裕子様

「柴犬のブリーダーで犬のドッグフードやおもちゃも販売しています。すきま時間にできるというお話だったので、引き受けることにしました。子犬が産まれて忙しくなったら配達業務の受諾は中断できます。本業を優先してスケジュールを組めるのがいいですね。」

Amazon Hub デリバリーパートナープログラムは、所定の条件を満たせばどなたでも登録可能です。配送パートナーになるための主な条件は、オーナーまたはスタッフ等がオフピーク時に配達時間を確保できると、そして商品を保管するための十分なスペースがあることなどです。

現在、Amazon Hub デリバリーパートナープログラムの募集対象エリアは、東京・千葉・埼玉・神奈川・大阪・京都・兵庫・愛知・福岡の9か所ですが、今後日本全国の中小企業の皆さまにご利用いただけるようにエリアの拡大を目指していきます。Amazon は、今後も、副収入を得る機会の提供、地域社会との関わり維持、ECの活用を通して、地域の中小企業の潜在能力を引き出すために支援を続けてまいります。

また、Amazon Hub デリバリーパートナープログラムは、インド、スペイン、メキシコでも運用しています(2022年12月現在)。Amazon Hub デリバリーパートナープログラムについては詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

Amazon について

Amazon は 4 つの理念を指針としています。お客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。Amazon は、地球上で最もお客様を大切にする企業、そして地球上で最高の雇用主となり、地球上で最も安全な職場を提供することを目指しています。カスタマーレビュー、1-Click 注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazon プライム、フルフィルメント by Amazon (FBA)、アマゾン ウェブ サービス (AWS)、Kindle ダイレクト・パブリッシング、Kindle、Career Choice、Fire タブレット、Fire TV、Amazon Echo、Alexa、Just Walk Out technology、Amazon Studios、気候変動対策に関する誓約 (The Climate Pledge) などは、Amazon が先駆けて提供している商品やサービス、取り組みです。Amazon について詳しくは Amazon Newsroom (<http://amazon-press.jp>)、および About Amazon (<http://www.aboutamazon.jp>) から。

本件に関する報道関係者からのお問合せ先

アマゾンジャパン合同会社
E-mail: jp-ops-pr-core@amazon.com

Weber Shandwick
Tel: 03-5427-7341
E-mail: amazon_ops@webershandwick.com